

## 「にげることの大切さ」

三豊市立桑山小学校 四年 山下 維月 さん

おばあちゃんの家は山の中にあります。ある日、おばあちゃんの家に向かっている途中にブルーシートがかけられた場所があり、不思議に思いました。お父さんに聞くと、「この間の大雨で山のしや面がくずれてしまって、あぶないから応急処置してるんだよ」と言っていました。

おばあちゃんの家のうらの山もくずれていきました。すごい量の大雨がふってきて山がくずれたそうです。よく見ると竹もいっぱいおれしていました。

「これ以上くずれないといいんだけどね」とおばあちゃんは心配そうに言いました。

おばあちゃんはこの日から大雨になると、よく私の家にとまりに来るようになりました。小さいころの私は、おばあちゃんがとまりに来る理由がよく分かっていませんでした。でも、とまりに来てくれるのがとてもうれしくて、楽しみにしていました。小学生になってニュースを見始めてから、このおばあちゃんの行動がとても大事なことだったのだと気づきました。

最近はよく大雨のニュースを見ます。川があふれて、道路にまで水があふれている所を見ました。水があふれすぎて車が前に進めなくなっていました。車の中の人は救急隊の人に助られていました。他にもにげおくれている人達がたくさんいて、救助されていました。

山がくずれて家が流されてしまったニュースも見ました。大雨で土砂が流れて来て、家も車もいっしゅんで流されてしまっていました。もし、おばあちゃんの家も流されてしまったらと考えると、とてもこわくなりました。またニュースを見ていると土砂が流れて道路をふさいでしまい、ひなんすることが出来なくなってしまうことがあることも知りました。大雨がふったら、すぐにテレビやインターネットを見て、情報を集めて、早目に逃げるじゅんびをすることがとても大事なんだなと思いました。

大雨がふる前に自分達で出来ることを考えました。家族みんなで緊急ひなん場所をかくにんしました。小学校や中学校がひなん場所になっていることを初めて知りました。中学校が近いので、何かの災害があったら中学校へひなんすると家族で決めました。また、もし一人で家にいる時にけい報が出たら、すぐにお父さん、お母さんに電話してどうすればいいか聞くと決めました。

今もおばあちゃんは大雨がふると私の家にとまりに来ます。

「いつもごめんね。ずっと大丈夫だったし、もうとまりに来なくても大丈夫か

な？」とおばあちゃんは言いました。でもお母さんが、「いつ何が起こるか分からないし、災害が起こってからにげるのじゃおそいよ。うちは大丈夫だからいつでもとまりに来て」と伝えていました。本当にその通りだと思いました。災害から命を守るにはすぐににげること、にげるか迷った時はにげるようになるととても大事だと思います。

「そうだよ！大雨がふったら、またとまりに来てね、おばあちゃん！」と私もおばあちゃんに言いました。おばあちゃんは、「ありがとう、いっちゃん」と笑っていました。いつでもおばあちゃんが安心してひなんすることができるよう、私もじゅんびしたいと思いました。

土砂災害はとつぜん起きます。でも災害が起きる前にできることもあります。防災グッズを用意すること、天気予報を毎日かくにんすること、そして「にげること」がとても大切です。これからも家族みんな笑顔でごせるよう、他にどんなことができるのか考えていきたいと思います。